

梅種子炭(タールを含まない炭)

梅の種子をそのままの状態（種の内部に仁がある状態）で炭化するとともに、炭化の形態についてはタール成分などの燃焼成分が存在しないように（燃料としての炭として機能しないように）炭化することによって、一般的な炭と比べて様々な効果が発現する炭となり得るという知見を得るに至った。

タールなど燃焼成分を含まない無機炭を開発した。炭化物であって、電気抵抗値が5,000Ω以下であることを特徴とする梅種子の炭化物。

●梅種子の無機炭（特に、殻の部分の炭化物）が有する細孔が土壌中や水中の不純物を吸着することから植物の成長を阻害する要因を排除することができる。

さらに、梅種子の無機炭は、内部に仁の炭化物を含有(がんゆう)するものとなることから、仁の成分（K、Ca、Mgイオンなど）を土壌中や水中に溶出させることができる。

お問い合わせ

電話: 0738-45-0834

メール: info@biotope.or.jp

Web: <http://www.biotope.or.jp>



梅種子炭

UmeShushiSumi

電話: 0738-45-0834

メール: info@biotope.or.jp

Web: <http://www.biotope.or.jp>

目次

- プログラムの概要..... 1
- 始めましょう..... 2
 - 含める内容..... 2
 - 1 番の魅力に焦点を当てる..... 2
- 使命を忘れずに..... 3
- 独自のものにする..... 4
 - ほぼ瞬時にカスタマイズ..... 4
- 弊社の製品とサービス..... 5

弊社の製品とサービス



梅種子炭にはケースの2パターンがあります、お茶バックに入っています



梅種子炭パウダーは100mlの容器入り



炭に含まれているミネラルを積極的に利用することが注目されてきた

※植物の成長を促進する

※水の浄化

※有害成分の吸着

①用途活用の背景（種のままの粒状炭）

梅種子には、梅の子孫繁栄を促進するために必要なミネラル成分が多く含まれています。（カルシウム、マグネシウム、カリウム等）

梅種子を炭化するとそのミネラル成分が凝縮され、多孔質になっているので水に溶けやすい状態になっています。

ミネラルは水溶性になっていると吸収されやすいよう。

②用途活用の背景（種のままの微粉末炭）

梅種子炭は多孔質で、空孔の大きさが小さい。

空孔が多くあることは、有害物質や油脂分などを吸着する力が多くあることが期待できます。

産業上の利用可能性

梅種子の炭化物は、植物成長促進材、水の浄化、有害成分の吸着などに用いることができる。

最近の新しい炭の製法

今回我々が発見した炭化方法で有害なシアンガスを乾留して 99.9%の炭化物となりタールや燃える成分も発生しない製造が可能となりました。

勿論炭化物に残留シアンもありません。

プログラムの概要



①梅種子炭をお茶パックに入れています



②超粉末パウダー



梅クロスケ野菜の鮮度がとても良い



始めましょう

梅種子炭水溶液の利用

ミネラル

マグネシウム……

カリウム……

カルシウムなど……

水溶液のミネラルは植物の成長促進作用がある。

炭の用途～従来の用途炭の多孔質を利用してきた消臭・徐湿・有害物質の吸着・繊維に練り込む遠赤外線効果に水溶液のミネラルが期待できる。

今回我々が発見した炭化方法で有害なシアンガスが発生しなくなり製造が可能となりました。勿論炭化物に残留シアンも残留農薬ありません。

令和2年2月28日付 梅種子の炭化物およびこの梅種子の炭化物から成る植物成長促進材並びにこの梅種子の炭化物の製造方法 特許第6667917号に登録された。



①梅種子炭にはケースの2パターンがあります、お茶バックに入っています。

②梅種子炭パウダーは100mlの容器入り。

ビオトープお問合せください。

info@biotope.or.jp

<http://www.biotope.or.jp/>